

事務事業名		有償バス購入事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			担当	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			担当	担当係	公共交通係	担当課長名	菊地 昌之
	施策	2	まちなかの活性化と公共交通網の整備			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3	公共交通の利便性の向上			実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	19080	バス事業	1	1	1	有償バス購入事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S57年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市自家用有償バス条例				
							市単独事業・国県補助事業		国県補助事業	
						任意的事業・義務的事业		任意的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		施設維持管理事業(市主体)		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		3-12		

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)						
既存バスの走行距離及び車両状態を勘案してバス車両を購入する。					ノンステップの小型バス(乗車定員33人)1台を購入した。						
					活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
					購入した市営バス車両数	台	1	0	1	0	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
①市民 ②市営バス車両					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
					所有する市営バス車両数	台	12	12	13	13	
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
市営バス車両の安全運行を確保する。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
					市営バス利用者数	人	115,819	121,292	124,932	130,000	
					市営バス車両の故障による運休便数	便	0	0	0	0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
①市民が公共交通を快適に利用できる。 ②公共交通が利用者ニーズに応じ、充実したものになっている。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
					市内を運行するバスの利用者数	人	296,233	303,984	305,452	315,000	
					市内を運行するバスの路線数	路線	8	9	9	9	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	4,128		19,241			
	一般会計	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	4,128	0	19,241	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			役員費	67	役員費	107		
			備品購入費	4,049	備品購入費	19,101		
			公課費	12	公課費	33		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		
		のべ業務時間	時間	64	62	117		
	人件費計(B)	千円	249	244	456	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,377	244	19,697	0	0	

事務事業名	有償バス購入事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	公共交通係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	民間の路線バス事業の撤退により、町営バスとして旧田沼町では昭和62年1月から、旧葛生町では昭和57年5月から運行することとなったため、この事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	モータリゼーションの進展や地方の過疎化などの社会状況の影響を受けて、市営(町営)バス利用者数は年々減少したが、平成20年10月1日の路線再編後は増加傾向にある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成25年12月定例会の厚生常任委員会において低床バスの購入の検討を願う意見、平成27年2月定例会において低床バス購入の平成27年度の予算化を受け、今後の低床バス導入に対する考え方についての一般質問があった。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 市営バス車両の安全運行を確保するために車両を購入することは、公共交通の利便性の向上に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 市営バス車両の購入であるため、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 既存バス車両の走行距離及び車両状態を勘案しての車両購入であり、かつ、車両購入が市営バス車両の安全運行の確保につながるため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 既存バス車両の走行距離及び車両状態を勘案しての車両購入であり、かつ、購入車両は需要に応じた大きさの車両であるため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 なし *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 ・既存バス車両の走行距離及び車両状態を勘案しての車両購入であり、かつ、購入車両は需要に応じた大きさの車両であるため、事業費を削減する余地はない。 ・業務所要時間は車両を購入するための事務が限定され、短縮することは難しいため、人件費を削減する余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 市営バスの利用者から運賃を徴収しており、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	運行形態が道路運送法第78条による自家用有償旅客運送から同法第4条による一般旅客自動車運送事業に切り替わった場合又は市営バスが廃止された場合は、廃止することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
			コスト																							
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																										